

共に取り組むCO2削減計画こもろ・平成29年度実施報告

	施策	取組内容	担当課	H29年度 実施状況	CO2削減量 (t-CO2)
再生可能エネルギーの利用促進	太陽光発電設備の普及促進	太陽光発電に関する相談窓口の開設や情報発信などにより、市民や事業者の取り組みを支援します。	生活環境課	・関係書類を窓口で配布し情報等を市ホームページに掲載。	
	公共施設への太陽光発電設備の導入	市公共施設への太陽光発電設備設置を継続して実施します。	生活環境課	・農産物加工施設へ太陽光発電設備を設置。(農林課実施、発電容量：5.0kW 所在地：小諸市大字御影新田2107-1)	9.29
		太陽光発電事業を行う事業者に対して市関連施設の屋根などを貸し出しします。	生活環境課	・公共施設屋根貸し事業を継続し、6施設に太陽光発電設備を設置。 (6施設合計発電容量：610.7kw)	1134.57
	廃食用油の利用	家庭からの廃食用油を収集しペンキ材料として活用します。	生活環境課	・廃食用油を拠点回収し、塗料原料として活用した。 (回収 8,499kg 資源化 7,280kg)	
	バイオマスイエネの活用	間伐材の利用を希望する市民に対して市が実施した間伐事業に関する情報提供を行い、バイオマス熱利用の普及を支援します。	農林課	・針葉樹対応薪ストーブ等設置事業補助金の実施。 件数：3件 補助額：300,000円 補助率：1/2	
	未利用エネルギーの利用	地形的な特性を活かした小水力発電などの未利用エネルギーの導入に向け、有効性を研究します。	生活環境課	・小水力発電サミットに出席し先進地事例などを研究。	
市民・事業者の活動促進	省エネ効果の高い製品の導入	LED照明など省エネ効果の高い製品を導入することで、電力消費の節減に努めましょう。	総務課	・市内にLED防犯灯を95箇所設置。	

共に取り組むCO2削減計画こもろ・平成29年度実施報告

	施策	取組内容	担当課	H29年度 実施状況	CO2削減量 (t-CO2)
市民・事業者の活動促進	エコカーの導入	自動車の買い替え等を行う場合は、ハイブリットカー(HV)や電気自動車(EV)、天然ガス車など、環境負荷の少ない自動車を選択しましょう。	財政課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノー残業デーの実施</li> <li>・夏季の冷房、冬季の暖房は、原則としてセントラル空調を主として使用し、個別エアコンはセントラル空調で対応できない場合の補助的な使用とする。</li> </ul>	
	環境保全活動などへの積極的な参加	手法や効果、先進的な取り組みについて積極的な情報発信を行います。	生活環境課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係書類を窓口で配布。</li> </ul>	
	環境に配慮した事業活動	相談員による企業訪問などを通じ、事業活動に必要な情報提供を行います。	商工観光課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係書類を窓口で配布。</li> </ul>	
		補助金交付や融資制度により、事業者の活動を支援します。	商工観光課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係書類を窓口で配布。</li> </ul>	
	庁舎内の温室効果ガス排出削減の推進	「エコオフィスこもろ」により、市民や事業者に率先して省エネ活動を実施します。	総務課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノー残業デーの実施。</li> <li>・夏季の冷房、冬季の暖房は、原則としてセントラル空調を主として使用し、個別エアコンはセントラル空調で対応できない場合の補助的な使用とする。</li> </ul>	
	エコドライブの実施	急発進や急加速は控え、アイドリングストップなどのエコドライブを心掛けましょう。	生活環境課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係書類を窓口で配布。</li> </ul>	
		エコドライブに関する情報発信を積極的に行い、エコドライブの普及啓発を図ります。	生活環境課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係書類を窓口で配布。</li> </ul>	
	環境教育の充実	家庭や職場、地域での環境行動への発展を見据え、「学びのまち・こもろ出前講座」などにおける環境講座の充実を図ります。	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係書類を窓口で配布。</li> </ul>	
環境教育の充実	学校内学習により子ども達の環境に対する意識を深めます。	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各校で計画を立て、畑・田での栽培、動物飼育、リサイクル活動、委員会活動、各校に設置された太陽光発電施設を題材とした学習、ISO推進等を行っている。</li> </ul>		

共に取り組むCO2削減計画こもろ・平成29年度実施報告

	施策	取組内容	担当課	H29年度 実施状況	CO2削減量 (t-CO2)
市民・事業者の活動促進	地元農産物の利用促進	学校給食において、地元農産物や国内産の食材の使用割合を増やします。	学校教育課	・各校で直接地元農家から食材を調達し、配送距離を減らすことでCO2削減に努めている。	
		地産地消の推進、郷土料理の伝承、体験農園の整備のほか、食の安全・環境への配慮を行います。	農林課	・軽トラック市の開催1回 ・子育て応援マルシェの開催2回 ・地産地消推進協力店（事業所）の認定 6店 ・直売所等の夕市開催（7月～9月）12回 ・市民農園（体験農園）93人 ・学校給食パン用小麦の供給約1.7t	
	フードマイレージの削減	フードマイレージの考え方の浸透を図るとともに、地産地消を推進します。	農林課		
地域環境の整備及び改善	コンパクトシティの形成	都市計画によって、市中心部に都市機能を集中するように誘導します。	都市計画課	・市役所周辺整備 実施中。	
	集約都市開発事業	市役所周辺敷地の整備を実施し、都市機能の集約化を進めます。	都市計画課	・市役所周辺整備 実施中。	
	集約駐車場施設の整備	市役所周辺敷地に集約駐車場敷地を整備し、都市の低炭素化や快適な歩行空間の実現を目指します。	都市計画課	・市役所周辺整備 実施中。	
	徒歩や自転車、公共交通機関の利用促進	正しい交通ルールを学ぶ機会を設けるなど、自転車を利用しやすい環境を整備します。	生活環境課	・保育園等の交通安全教室の中でイラスト等を使用して交通ルールを学んだ。	
地域公共交通システムの見直しを行い、利用者の利便性を向上させます。		都市計画課	・市民意見を集約し、コミュニティ公共交通の見直しに取組中。		

共に取り組むCO2削減計画こもろ・平成29年度実施報告

	施策	取組内容	担当課	H29年度 実施状況	CO2削減量 (t-CO2)
地域環境の整備及び改善	ノーマイカーデーの実施	市民や事業者に広く呼びかけるほか、市独自のノーマイカーデーの設定を検討します。	生活環境課	・関係書類を窓口で配布。	
	都市緑化の推進	市内におけるグリーンカーテンの普及促進を図ります。	生活環境課	・文化センターや小中学校等の関連施設にグリーンカーテンを設置。	
		公共施設において、緑との調和を考慮します。	生活環境課		
	里山、森林の保全と活用	森林の大切さの啓発に努めます。	農林課	・パンフレット等の関係書類を窓口で配付し啓発の実施。	
国や県の補助制度、森林づくり支援交付金などを活用し、市有林や民間林の間伐を行い、広葉樹の発生を促進させ、健全な森林の育成を図ります。		農林課	・松くい虫被害木処理 申請件数：117件 処理本数：409本 ・松くい虫伐倒くん蒸処理 処理量：208m <sup>3</sup>		
循環型社会の構築	ごみの発生抑制行動の推進	市民や事業者に対し、廃棄物の減量化や再資源化の誘導、指導を行います。	生活環境課	・ごみの組成調査の結果を広報こもろや出前講座、事業者向け説明会等で周知し、ごみの減量化・資源化について啓発を実施。	
		廃棄物などの不法投棄を監視するためのパトロールを行います。	生活環境課	・嘱託職員1名による不法投棄監視パトロール及び不法投棄ごみ回収を週5日実施。 (回収件数 207件 回収量 kg)	
		ごみ減量アドバイザーを中心に、協力店の店頭やイベント会場において、レジ袋削減推進キャンペーンを実施します。	生活環境課	・スーパーマーケット等の店頭や各種イベント会場において、ごみ減量アドバイザーによるレジ袋削減推進キャンペーンを実施し、マイバック利用によるレジ袋削減の啓発の実施。	

共に取り組むCO2削減計画こもろ・平成29年度実施報告

	施策	取組内容	担当課	H29年度 実施状況	CO2削減量 (t-CO2)
循環型社会の構築	ごみの分別の徹底	ごみの分別方法や分別の必要性について周知啓発します。	生活環境課	・ごみ減量アドバイザーによる出前講座、広報こもろ、クリーンヒルこもろ見学、各種イベント等において、ごみの分別・減量化について周知啓発を行った。	
	ごみの分別の徹底	環境配慮行動の実践として保育園や学校において資源回収に取り組み、ごみの減量化と資源化に対する意識を培うとともに、地域での資源回収活動を積極的に支援します。	生活環境課	・資源回収報奨金を交付し、実施団体等への支援を行った。また、小学4年生が社会科見学でクリーンヒルこもろを見学した際、ごみ減量アドバイザーがごみの分別・資源化について啓発を実施。	
		新たな技術開発や社会情勢の変化などに応じ、ごみの分別と資源化の方法を検討します。	生活環境課	・ごみ処理技術の動向や社会・経済情勢の変化に対応した再資源化について、情報を収集し、必要に応じ検討を実施。	
	グリーンコンシューマー活動及びグリーン購入の普及促進	市民、事業者に対し、グリーン購入の啓発を行うとともに、環境にやさしい行動の普及推進を図ります。	生活環境課	・関係書類を窓口で配布。	